

2026 年 3 月 2 日発行

V05L23R1

ES/1 NEO

CSシリーズ

V05L23R1

Release News Letter

機能修正

 株式会社 アイ・アイ・エム

改版履歴

日付	版数	内容
2026/03/02	1	V05L23R1 リリース

目 次

第 1 章	Control Center	1
1.1.	機能修正	1
1.1.1.	32 文字を超えるデバイス名への対応.....	1
第 2 章	CS-MAGIC	2
2.1.	機能修正	2
2.1.1.	箱ひげ図グラフではなく縦棒グラフが出力される	2
第 3 章	CS-Java.....	3
3.1.	機能修正	3
3.1.1.	CS-Java のデータ収集が失敗することがある	3
第 4 章	変更一覧	4
4.1.	本リリースより、出力される値（数値／文字列）、表示の変更一覧	4
4.1.1.	変更一覧	4

第1章 Control Center

1.1. 機能修正

1.1.1. 32 文字を超えるデバイス名への対応

分類		数値変更	表示変更	特記事項
機能変更	機能修正	—	—	Unix/Linux

○現象

以下のエラーが発生して、Control Center が Unix/Linux のシステムデータを変換できない。

PDBUpdate.Update unexpected exception [列 'DISKID' は一意であるように制約されています。
値 'xxx_xxx_xxx_xxx_xxx_xxx_xxx_xxxx' は既に存在します。]

○発生条件

Control Center バージョン : Syncsort Capacity Management 12.50 以前
対象 OS : Unix または Linux
条件 : デバイス名の右から 32 文字の部分と同じになるデバイスが複数存在する。

○原因

デバイス名を格納するパフォーマンスデータベース（SQL Server データベース）の該当フィールドの文字列サイズが 32 文字でした。また、Control Center はデバイス名の右から 32 文字までを取り扱う仕様でした。
そのため、下記のような右から 32 文字の部分と同じになるデバイスが複数存在している場合に、デバイス名が重複することになり、一意制約によってデータを該当フィールドに格納できず、上記の変換エラーが発生していました。

DEVICE1_AAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA
DEVICE2_AAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA

○対応

デバイス名を格納する該当フィールドの文字列サイズを 64 文字に拡張しました。

第2章 CS-MAGIC

2.1. 機能修正

2.1.1. 箱ひげ図グラフではなく縦棒グラフが出力される

分類		数値変更	表示変更	特記事項
機能変更	機能修正	—	—	—

○現象

箱ひげ図グラフを作成するクエリーグループを実行すると、縦棒グラフが出力される。

○発生条件

ES/1 バージョン : V05L19R1～V05L22R1

条件 : CS-MAGIC のバッチ形式で箱ひげ図グラフを作成するクエリーグループを実行する。

○原因

該当モジュールのコードに誤りがあったため、CS-MAGIC の GUI 画面からクエリーグループを実行した場合は箱ひげ図グラフが出力されますが、バッチ形式で実行した場合に縦棒グラフが出力されていました。

○対応

バッチ形式で実行した場合に箱ひげ図グラフが出力されるように修正しました。

第3章 CS-Java

3.1. 機能修正

3.1.1. CS-Java のデータ収集が失敗することがある

分類		数値変更	表示変更	特記事項
機能変更	機能修正	—	—	—

○現象

iim was collector サービスが「開始中」のまま開始できず、データ収集できませんでした。
wascl.log には下記のメッセージが毎秒出力されます。

WARN:00000001,yyyy/mm/dd, hh:mm:ss,java.exe(Tomcat8\config.xml)の異常停止を検知しました。java プロセスの再起動を行います。

○発生条件

ES/1 バージョン : V05L22R1
条件 : 収集対象のアプリケーションサーバ

- Interstage Application Server Enterprise Edition V11.1
- Interstage Application Server Standard-J Edition V11.1
- JBoss Enterprise Application Platform 6.4.0
- Tomcat 9.0

○原因

発生条件に該当するアプリケーションサーバの場合、CS-Java の接続は JRE1.6 で行っています。しかしながら V5L22R1 では wascl.jar のビルドを JRE1.8 で行っているためエラーが発生していました。

○対応

CS-Java において収集対象のアプリケーションサーバの場合 JRE1.6 で起動するように対応しました。

第4章 変更一覧

4.1. 本リリースより、出力される値（数値／文字列）、表示の変更一覧

4.1.1. 変更一覧

数値変更	表示変更	プロダクト	内容
		Control Center	32 文字を超えるデバイス名への対応
		CS-Magic	箱ひげ図グラフではなく縦棒グラフが出力される
		CS-Java	CS-Java のデータ収集が失敗することがある

数値変更 : 本バージョンの適用により、出力される値（数値/文字列）に変更がある場合に●が付きます。

表示変更 : 新規項目追加等により、レイアウトが変更した場合に●が付きます。